

## 「地域に開かれた幼稚園」づくりに関する実践的研究(1)

—— 在園児と地域の未就園児とのふれあいの場「あそぼうかい」4年目の実践報告 ——

○野牧政子 木村佳代 村山尚子 中西利恵 川村晴子  
(吹田市立吹田第三幼稚園) (湊川女子短期大学) (大阪女子短期大学)

### I はじめに

幼稚園においては、「地域に開かれた幼稚園」としての課題を踏まえた保育のより一層の充実発展がますます重要となっている。本年度4月1日より施行される「幼稚園教育要領」では、第3章の2の(5)に『幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために地域の人々に施設や機能を開放して、幼児教育に関する相談に応じるなど、地域の幼児教育のセンターとしての役割を果たすよう努めること。』という事項が明記された。このような状況の中、吹田市でも吹田市立吹田第三幼稚園(以下、本園)の実践を通して保育内容をはじめ支援のあり方について研究を深め、教員相互の共通理解を図るとともに指導力の向上をめざす取り組みが実施されてきた。

今回の一連の発表では、園児の発達を保障するという観点から「地域に開かれた幼稚園」づくりのあり方についての検討を試みたい。そのため、まず(1)では、本園が取り組んできた「あそぼうかい」の3年間にわたる保育実践の経過と4年目の実践状況について報告し、特に「あそぼうかい」の保育実践と園児たちの育ちとの関連について考察したい。

### II 3年間における「あそぼうかい」保育実践の経過と報告

最初に、本園では地域開放事業あるいは子育て支援事業として「あそぼうかい」の実施を試みたわけではないことを断っておきたい。いかに園児たちに「人とかかわる力を培い、心の豊かさを育てていくか」という課題への取り組みとして、「あそぼうかい」という保育のバリエーションを取り入れたのである。

#### (1) 「あそぼうかい」の実施方針と計画の概要

本園では、平成8年度より在園児の社会性や豊かな人間性を育むため、地域における未就園児とのふれあいの機会を「あそぼうかい」と名付け積極的に設けてきた。実施方法としては、原則的に毎週火曜日を「あそぼうかい」の開催日とし、平常保育時間内(午前10時～11時30分)で園庭・園舎をふれあいの場として「あそぼうかい」の参加者(乳幼児とその保護者)に開放してきた。

平成8年度～平成10年度の3年間における実践の経過について、以下の項目から報告する。

#### (2) 開催日(回数)と参加者数について

平成8・9・10年度の開催日と参加者数については表1～3[資料]のとおりである。年度により開催回数がことなるため単純に比較できないが、平成8・9年度は延べにして1,000人以上の子どもが参加した。本園の園区は吹田市の中でも乳幼児の数が少ない地域なので、この数は予想を遙かに超えるものであった。さらに、参加者は幅広い年齢層で構成されているが、中でも1～3歳の子どもたちの参加が盛んであった。参加者数は天候に左右され、雨天や寒い日は減少する傾向にあった。この傾向は未就園児の保護者に対するアンケート調査(質問6:「あそぼうかい」のいいところは何だと思われますか、質問8:「あそぼうかい」に参加して子どもにとって良かったことをお知らせください。)の結果[資料]とも一致し、保護者の主なニーズが砂遊びやどろんこ遊びが安心してできることや家や近所や公園に比べて安心して遊べることにあることがわかる

#### (3) 活動内容について

平成9・10年度の活動記録を表4～5[資料]に示した。活動場所が基本的に園庭であるため、活動内容は外遊び中心である。ただし、雨天の場合は保育室内での活動内容を工夫した。

1年目(平成8年度)の取り組みの問題点としては、計画に追われ過ぎた点、在園児にとっても初めての体験であり特に4歳児の動揺が大きかった点、地域の児童会館の取り組みと日程等が重複した点などがあげられる。

#### (4) その他

平成10年度からの取り組みとして、保険に加入したこと、保育ボランティアの協力を得たこと、「お楽しみタイム」を導入したことがあげられる。

### III 「あそぼうかい」4年目の実践状況

#### (1) 平成11年度「あそぼうかい」の実施方針と計画の概要

平成11年度「あそぼうかい」実施に関しては、実施要項[資料]のとおりである。

(2) 開催日(回数)と参加者数について

平成11年度の開催(予定)日と参加者数については表6 [資料] のとおりである。16回目終了時点で延べ参加者数は595名である。参加者の傾向は従来と同様であるが本年度は1歳児の参加が多いのが特徴的である。

(3) 活動内容について

平成11年度の活動記録を表7に示した。外遊び(特に泥んこあそびや砂場あそび)もお楽しみタイムもますます充実した展開をみせている。

(4) あらたな取り組み

①「おかあさん先生」の導入:子どもたちにとっては活動を援助してくれる大人たちが増え、多様な大人たちにふれあえる機会ともなり、また母親たちにとっては遊び体験を積めると同時に、園児も地域の子どもも同等にとらえていく視点を養う機会となることを願い、導入を試みた。

(5) 事前・事後の取り組み

①4月の会議:年間計画の作成  
 ②開催情報に関する広報:「あそぼうかい」開催に関する情報提供の方法を複数用意した。ポスターの他にチラシを全園児に2枚ずつ配布し、近所の人に渡してもらうように依頼した。なお、未就園児の保護者に対するアンケート調査結果 [資料] では「あそぼうかい」の情報の入手先は1歳児が近所の人とポスターから、2・3歳児は6割以上が在籍する兄や姉から、残りは近所の人とポスターからであった。

③情報の公開:「あそぼうかい」の終了後は園長と「おかあさん先生」の反省会ならびに保育者間の反省会でその日の保育実践について検討し、その内容を「あそぼうかい通信」 [資料] に掲載し発行した。

(6) 園児たちの育ち [事例報告]

①「あそぼうかい」出身の園児:平成11年度の在園児の中にどの程度「あそぼうかい」出身児がいるかを表8に示した。表から明らかなように、年少組では30名中20名が、年長組では31名中16名が最低1度以上「あそぼうかい」に参加してきたことがわかる。

②入園時のようす

③遊びのバリエーションの豊かさ

④人とのかかわりのようす

- ア) 泣きやまない2歳児へのYちゃんのかかわり
- イ) 砂でプリンの型ぬきを作るたびに潰しにくる2歳児へのA子ちゃんのかかわり
- ウ) 金属製のスコップを使おうとする2歳児へのKくんのかかわり

註)本文中の [資料] [事例報告] については当日提示する。

〔表7〕平成11年度「あそぼうかい」活動記録

回	開催日 天候	参加 者数	活動内容	お楽しみタイム (11:00~11:30 遊戯室)	備 考
1	5月25日 曇	48	・砂場(山作り、団子作り、プール作り) ・土山(ダム作り、おにぎり、団子作り) ・泥んこあそび(ネルネル、泥山作り) ・色水ジュース ・出ばし遊具 ・ボール	歌「いちご」 手遊び「リボンアンパンマン」 紙芝居「アンパンマンと仲間たち」	・片付け時におもちやが多い時は、たらいの準備を早めにする。
2	6月1日 曇	64	・砂場(プール作り、穴掘り) ・土山(ダム作り、川作り) ・泥んこあそび(泥んこ道、山作り) ・ケーキ、トスネル ・つるびか団子作り ・色水ジュース ・固定遊具	歌「さんぽ」 手遊び「1丁目のトランプ」 「お手出て1本」 パネルシアター 「だれのせんたくもの」	・あそぼうかいに来ていす子どもたちや保護者にも、一緒に片付けをしてもらうよう声かけをする。
3	6月8日 曇	53	・砂場(山作り、トンネル作り、シャワーあそび、お料理作り) ・土山(穴掘り、ダム作り、川作り) ・団子作り ・固定遊具 ・色水あそび ・水あそび ・フィンガーペインティング	歌「さんぽ」 手遊び「1丁目のカエル」 エプロンアター 「3びきのこぶた」	・フィンガーペインティングはあそびの場外を見て出すようにする。
4	6月15日 曇	55	・泥んこ池作り ・泥んこごちそう作り (赤トウモロコシ、乾燥、団子) ・色水ジュース ・固定遊具 ・ビニールプール(水鉄砲、水あそび)	歌「はみがきのうた」 手遊び「あべのうた」 紙芝居「あおむしの冒険」	
5	6月22日 曇	20	・巧技台(戸板のぼり、すべりだい、はしご、ジャンピング)、隠し鏡、船本 ・ままごと、陶器製作、おえかきコナ (クレパス)、OOシヨウ ・リボン体操	歌「寝るマーチ」 いちご熊文児のリボン体操 ペープ 「プールで泳ごう1.2.3」	・雨の時は庭の遊具を工夫し特に危険のないように置をつける。
6	6月29日 曇	18	・巧技台(戸板のぼり、すべりだい、はしご、ジャンピング)、大形細水(あまごころ)、ままごと、ボールなげ、陶器製作 ・おえかきコナ(クレパス)、リボン体操、シャボン玉	陶器製作 「ままごころの導入」	
7	7月8日 曇	42	・水あそび大会 ・プール ・ビニールプール(水鉄砲)		・定洗い場を作りプール内の水が汚れないように注意する。
8	9月14日 曇	35	・ビニールプール(水鉄砲) ・砂場(山作り、トンネル作り、穴掘り、川作り、お料理作り) ・色水あそび ・団子作り ・固定遊具	歌「トンボのめがね」 歌あそび(器用体操、おえかきコナ) 「はらぺこあひる」 「パワフルキッズやん」	・ビニールプールはシートの上に置く。
9	9月21日 曇	24	・砂場(おかし山作り、ぶどう山作り、池作り) ・長縄 ・色水ジュース ・団子作り ・竹馬 ・固定遊具	歌「コロボキ」 手遊び「ポンコツめがね」 紙芝居「かいじゅうドラゴン」	
10	9月28日 曇	37	・サーキットあそび(巧技台、戸板作り、一本橋、はしご)、たまいれ、長縄、竹馬 ・砂場あそび ・団子作り ・固定遊具	歌「さんぽ」 「ドレミのうた」 パネルシアター 「まんまるちゃん」	
11	10月5日 曇	33	・玉入れ ・ごおりおにぎり ・おにぎり ・砂場(山、池作り) ・三輪車	歌「ポンコツめがね」 「どんぐりころころ」 紙芝居「おむすびもち」	・探検コースでは危険のないように十分注意を付ける。 竹馬と三輪車が突進しないようにそれぞれを付けておく。
12	10月19日 曇	50	・玉入れ ・探検コース(技巧台、プープ、ゴム遊び) ・砂場(山、池作り) ・ごちそう作り ・どんぐり ・団子作り ・三輪車	手遊び「くいしんぼうゴリラ」 運動会の準備を促してもらう ぶどう餅「パワフルキッズたいそい」 いちご熊文児「パワフルキッズたいそい」 みんなで体操をする「カワム」	
13	10月26日 曇	39	・玉入れ ・長縄 ・竹馬 ・三輪車 ・砂場(山、池作り) ・団子作り	歌「どんぐり」 手遊び「どんぐりころころ」 手遊び「いちごころころ」 OP「さんびきのこぶた」	
14	11月15日 曇	32	・ドッジボール ・ウツギに絡まる ・砂場(山、池作り) ・団子作り ・長縄 ・ごちそう作り ・製作コーナー(園内の自然物を使って)	地域のお願い(さんによる風船作り) ウツギを絡まる 「ありのくまさん」	・製作コーナー準備物(どんぐり、ビラカンサ)は十分に用意しておく。
15	11月30日 曇	23	・長縄 ・ウツギに絡まる ・砂場(山、池作り) ・ケーキ作り(おにぎり) ・団子作り ・おにぎり	地域の保育ボランティアによる パネルシアター「てぶくろ」	
16	12月7日 曇	22	・ドッジボール ・ウツギに絡まる ・砂場(山、池作り) ・ごちそう作り ・ケーキ作り	10時45分からみんなでリース作りをする。	・リース作りの準備物(紙、布、ビーズ、リボン、糊用など)。

〔表8〕平成11年度在園児の年度別「あそぼうかい」参加回数

25A	園児	年少組				25B	園児	年長組			
		1歳	2歳	3歳	4歳			1歳	2歳	3歳	4歳
A (歳)	11	1	4	5	0	a (歳)	15	1	1		
B (歳)	11	6	3			b (歳)	15	3			
C (歳)	6	1	4	9		c (歳)	14	6			
D (歳)	1	3	3			d (歳)	9	12			
E (歳)	1		4			e (歳)	7	13			
F (歳)	7	1				f (歳)	7	4			
G (歳)		7	12			g (歳)	2	2			
H (歳)		6	7			h (歳)	3				
I (歳)		4	3			i (歳)	1				
J (歳)			2	3		j (歳)			17		
K (歳)	7					k (歳)			14		
L (歳)	1					l (歳)			3		
M (歳)			5			m (歳)			2		
N (歳)			1			n (歳)			1		
O (歳)				14		o (歳)			1		
P (歳)				8		p (歳)				1	
Q (歳)				4							
R (歳)				4							
S (歳)				2							
T (歳)				1							
年少組計	8	11	15	0		年少組計	9	13	1	0	
3年組計			20			3年組計		16			
在園児数	30					在園児数	31				

IV 「あそぼうかい」の保育実践から

- (1) 在園児も未就園児も保護者も「あそぼうかい」の日を楽しみにしている。
- (2) 今すぐの結果(成果)ではなく、子どもたちの今後の育ちへつながっていく手応えを感じている。
- (3) 予算も人も出ない中で、子どもたちや地域のために何ができるかから始まった取り組みの今後。